

# 神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第081号(通算)

令和4年12月9日(金)発行

今週は、2年生が修学旅行に出かけており、本日帰着予定です。東京方面への修学旅行は、3年振りとなりました。2年生の東京で色々な体験をしてきたと思うので、土産話が楽しみです。

また、新型コロナウイルス感染症の流行は、第八波に突入しているようです。この感染拡大が一刻も早く終息することを願うばかりです。皆さんも、インフルエンザと新型コロナ感染症には十分注意して、マスクの着用や手指消毒など感染予防に努めながら過ごしましょう。

## 枚聞神社散策

令和4年11月19日(土)

『蘇れ、竜宮伝説』というイベントが、指宿市の枚聞神社で行われました。南九州市と縁のある豊玉姫が山幸彦と出会ったのが竜宮城であったという神話があります。これは、浦島太郎の物語の元になったとも言われています。また、日本中のあちこちに竜宮伝説は残っているようです。この日は、旧開聞町の枚聞神社にまつわる伝説をもとに、講演会や神話を落語で語る企画や、音楽パフォーマンス、神楽、そして特別企画で創作バレエのパフォーマンスも見る事ができました。南九州各地に神話が残っているので調べてみると面白いと思います。



## 美術館散策

令和4年11月19日(土)

鹿児島中央駅の近くに(新幹線が突き抜けるトンネルの上の丘)長島美術館があります。ここからの桜島の眺めが好きで、時々訪問しています。すると、『ぞ展』(ぞは、造形美術のぞ)という特別企画展が催されていたので、芸術鑑賞(油絵、水彩、版画、立体……)をしてきました。鹿児島在住の方の作品が沢山展示しており、大好きな桜島をモチーフにした作品も多く、とても充実した時間を過ごせました。



## 突然 QUIZ (クイズ) 第八弾

川辺高校には、校史資料室があります。ここには、旧制川辺中学校や川辺高等女学校からの貴重な資料が展示・保管されています。その中に、下の写真のような石があります。



さて問題です。  
この石はどこで採れた石でしょうか？

- ①開聞岳の溶岩石
- ②南極の石
- ③菱刈金山の石

考えてみて下さい。

### 【お茶の歴史】

以前紹介した「山ん寺」(宝福寺)は、鹿児島で3本の指に入るほどの大きなお山寺でした。今では、知覧茶や穎娃茶が有名ですが、お茶の原木は、ここ川辺にあったと伝えられています。



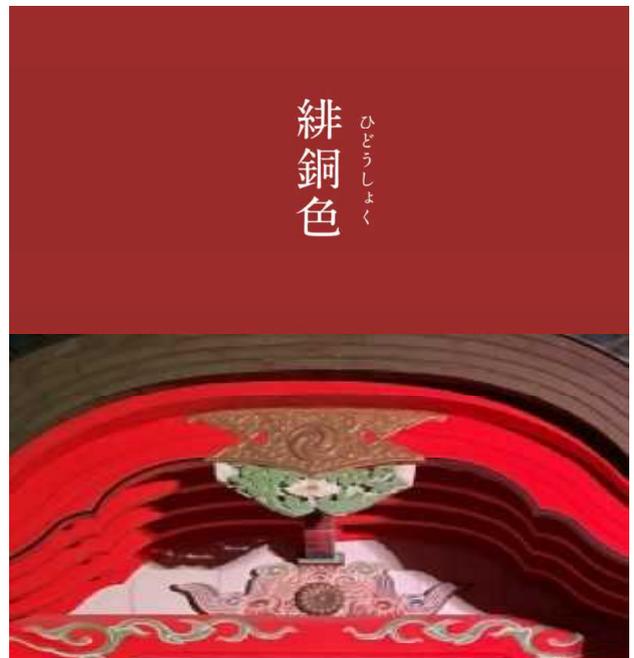
宝福寺跡のチャノキ  
(今寺跡)

## 12月のいろ #にっぽんのいろ



### 金色 (かないろ)

金鍍金(きんめっき)や真鍮(しんちゅう)などの金属の色を指します。「きんいろ」と読む黄金の色とは別の色です。鍍金は金属などの表面を別の金属の膜で覆う高度な技術。日本には仏教とともに伝わったそうです。川辺には、仏壇の製造工程の中に金具などの制作があり、この金色の部品を作っています。



### 緋銅色 (ひどうしよく)

艶やかな赤い緋色が魅力的です。近い色みに赤銅色(しゃくどういろ)がありますが、銅色と緋色を掛け合わせることによって、似て非なる色に仕上がりました。銅のきらびやかな橙色が、より華やかに見せています。